

I-O DATA DEVICE, INC.

証券コード:6916

第39期株主通信 平成25年7月1日▶平成26年6月30日

I-O DATA OUTLINE

ユーザー目線に常に立ち、 新しいデジタルライフスタイルを創造してまいります。

アイ・オー・データ機器は、お客様一人ひとりのデジタルライフを支えるパートナーとして、 時代を見据えた独創的な商品展開を目指しております。

ICTの進化とともに、これまでのパソコンやデジタル家電分野の事業の充実に加え、

現在、普及が進むスマートデバイス分野に対しても、データ共有やバックアップ、 リモート視聴といった切り口等から、そしてクラウドサービスとの融合を通じて、

新たなデジタルライフスタイルの創造を積極的に進めております。

皆様により快適な生活と感動をお届けしてまいりますので、どうぞご期待ください。









「超高速カクうすLite」









I-O DATA



周辺機器

□特注製品

その他

ごあいさつ



代表取締役計長

株主の皆様には平素より格別のご支援を賜 り有難く厚くお礼申し上げます。

さて、当社グループは平成26年6月30日を もって第39期事業年度(平成25年7月1日か ら平成26年6月30日まで)を終了いたしまし たので、ここに営業の概況等についてご報告 申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後ともよ り一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い 申し上げます。

平成26年9月

Contents

O DATA OUTLINE	1 - 2
ごあいさつ	2
営業の概況	3-4
部門別 営業の概況	5-6
車結財務諸表	7-8
OPICS	-10
朱主様アンケートのお願い 11-	-13
会社の概要/株式情報	. 14

■営業の概況〉〉〉

当期の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府や日 銀の政策効果を背景に、企業収益や個人消費に改善 が見られました。年度末を挟み消費税率引き上げ前 の駆け込み需要と反動減も生じましたが、その後の 影響は限定的との見方が多く、全般に景気は穏やか な回復基調で推移しました。

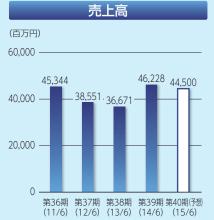
当社グループに関係するデジタル家電市場では、企業収益の改善にともないIT投資が復調に転じる中、年度末にはWindows XPのサポート終了による更新需要と消費税率引き上げ前の駆け込み需要が重なり、パソコン関連市場は活況を呈しました。また、スマートフォンやタブレット端末関連分野が引き続き堅調に推移しました。

このような状況の下、当社グループは、経営体質の変革を目指して、設立以来38年に亘り使用してきたコーポレートロゴをリニューアルし、新生アイ・オー・データ機器として収益力の強化と成

長基盤の確立に注力してまいりました。市場の変化に機敏に対応すべく、個々の商品力に磨きをかけるとともに、取扱商品の拡充と販路拡大に積極的に取り組みました。また、急増するパソコン環境の更新需要の取り込みを狙い、供給体制と営業活動の充実に努めました。こうした取り組みが実を結び、売上高は前連結会計年度の実績を上回りました。また、利益面につきましては、原材料・商品ともに概ね安定した市況の下、取引毎の適正利益を確保する利益重視の経営を徹底したことによる収益性の改善と増収により、前連結会計年度の実績を大幅に上回りました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は462億 28百万円(前期比26.1%増)、営業利益は22億26 百万円(前期比256.3%増)、経常利益は24億29百 万円(前期比355.4%増)、当期純利益は20億8百 万円(前期は3億56百万円の当期純損失)となりま した。

■ 主要経営指標







🔛 次期の見通し

今後の経営環境につきましては、政府や日銀の政策のもと、企業収益や雇用情勢の改善が進み、景気の回復基調は続くものと予想されますが、消費税増税後の景気の動向、円安による輸入品やエネルギーコストの上昇、新興国経済の成長率鈍化や国際紛争による世界経済への影響等、先行きは依然として不透明さを残しております。

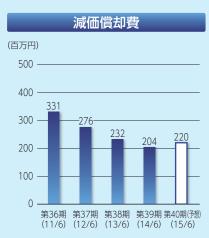
当社グループに関係するデジタル家電市場におきましても、今後Windows XPのサポート終了による更新需要が一巡し、パソコン関連市場の冷え込みが予想される他、TV関連分野も全般的には力強さに欠く厳しい状況が予測されます。しかしながら、一方では、スマートフォンやタブレット端末の普及は堅調であり、当社グループが目指す周辺機器やサービスの提案機会は拡大しております。また、来年7月にサポートが終了する業務用パソコンサーバーのOS [Windowsサーバー2003] の更新需要

が今後本格化する他、市場は未だ限定的ながら、 TV関連では4K市場の立ち上がりや放送・録画番組 をリモート視聴する新サービスが登場し始める等、 新たな事業機会も生まれております。

こうした状況の下、当社グループは、市場の変化に機敏に対応すべく、魅力的な商品・サービスの拡充を加速し、顕在需要の獲得と新市場の創造を積極的に進めてまいります。また、業種、地域別等の市場特性に応じた総合提案や営業強化を通じて、成長路線を着実に固めてまいります。採算性を重視した事業展開の下、円安にともなう部品価格の上昇や価格競争に備え、原価低減とローコストオペレーションを徹底し、安定収益確保を目指します。

これらにより、次期の連結業績予想につきましては、売上高は445億円(前期比3.7%減)、営業利益14億円(前期比37.1%減)、経常利益15億円(前期比38.3%減)、当期純利益9億円(前期比55.2%減)を見込んでおります。







■部門別営業の概況〉〉〉



メモリ

メモリ部門の売上高は35億51百万円(前期比45.0%増)となりました。

メモリモジュールは、パソコンの更新需要の下、DRAM価格に連動し販売価格が上昇したことにより、売上高は前連結会計年度の実績を上回りました。メモリカードやUSBメモリ等のフラッシュメモリは、お手頃価格の普及帯モデルの売れ行きが好調に推移し、売上高は前連結会計年度の実績を上回りました。また、スマートフォンとパソコンで共用できるUSBメモリ等の展開を進めました。





ストレージ

主力のハードディスクは、年末商戦期から年度末にかけて TV録画やパソコンのバックアップ需要が伸長しました。また、光ディスクドライブでは、音楽CDを直接スマートフォンやタブレットに取り込める「CDレコ」を発売、新市場を切り拓きました。この結果、ストレージ部門の売上高は141億23百万円(前期比6.0%増)となりました。





液晶

主に企業や官公庁、教育機関等でのパソコン環境の更新需要の盛り上がりに連動し、液晶ディスプレイの需要が急増する中、ラインナップと供給体制を整え積極的に案件獲得とシェア拡大に努めました。また一方で、新たな技術開発も着実に進め、フルハイビジョンの約4倍の解像度を持つ「4K」対応ディスプレイを発表しました。以上の結果、当部門の売上高は前連結会計年度を大きく上回る109億42百万円(前期比108.1%増)となりました。





周辺機器

スマートフォンやタブレットの普及、企業のIT投資の復調等を背景に、主に無線LANやNAS等のネットワーク分野が伸長し、周辺機器部門の売上高は83億55百万円(前期比13.9%増)となりました。無線LAN関連商品では、最新の超高速規格「11ac」モデルへの買い替え促進や新規ユーザーの獲得を狙い、環境移行ツールや非常

に簡単な初期設定ツールを整備し拡販に努めた他、ご家庭の隅々まで安定した通信を実現する無線 LAN中継器の提案を開始しました。また、スマートフォンで手軽に遠隔地をモニターできるネットワークカメラ「Qwatchシリーズ」のラインナップを強化しました。NASについては、法人向けモデルを中心に格段の信頼性向上を図るとともに、大容量モデルの展開やクラウドストレージサービス各社との連携強化を積極的に進めました。

マルチメディアおよびデジタル家電関連分野については、各種デバイス用の地デジチューナーの

他、思い出を記録したVHSや8mmビデオテープを手軽にデジタル化できるビデオキャプチャーの販売が堅調に推移しました。また、USB接続で4K表示を実現した世界初*のパソコン接続用USBグラフィックアダプターを開発しました。 (※:平成26年6月現在当社調べ)



特注製品

デジタル家電関連や通信事業者向けのOEM、特注品の販売を主とする当部門では、前連結会計年度末に一部の大口案件が終了した影響から、売上高は24億5百万円(前期比40.1%減)となりました。



売上高

7,335

第37期 第38期 第39期

9,204

12.000 •

9.000 •

6,000 •

3.000 •

(百万円)

8,355



その他

自社のラインナップを補完する他社ブランド商品の販売が好調に推移し、売上高は68億49百万円(前期比59.5%増)となりました。サムスン電子製SSD(フラッシュメモリを使用した記憶装置)の販売が伸長した他、Verbatim®(バーベイタム)ブランドの光ディスクメディアの販売が堅調に推移しました。また、当連結会計年度より新たにサムスン電子のスマートフォン「GALAXYシリーズ」のモバイルバッテリーやウェアラブル端末『GALAXY Gear』等の関連商品、サムスン電子製SDカードの取扱いを開始しました。



■ 連結財務諸表 >>>

連結貸借対照表

(単位:百万円)

	科目	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当連結会計年度 (平成26年6月30日)
	資産の部	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
	流動資産	20,851	25,226
	現金及び預金	4,794	6,228
	受取手形及び売掛金	7,890	8,129
	たな卸資産	6,545	9,468
	その他	1,633	1,402
	貸倒引当金	1,033 △13	1,402 △2
	固定資産	5,803	5,793
	有形固定資産	3,823	3,833
	土地	2,880	2,880
	その他	942	953
	無形固定資産	134	155
	投資その他の資産	1.846	1,804
$\rightarrow 0$		26,654	31,020
	負債の部	20,001	31,020
	流動負債	7,801	10,756
	支払手形及び買掛金	5,791	6,000
	短期借入金	_	2,000
	未払法人税等	132	396
	ポイント引当金	20	9
	事業構造改善引当金	19	_
	その他	1,837	2,349
	固定負債	572	584
	役員退職慰労引当金	110	110
	リサイクル費用引当金	324	342
	製品保証引当金	98	92
	その他	38	38
\rightarrow 2	負債合計	8,373	11,340
	純資産の部		
	株主資本	17,587	19,372
	資本金	3,588	3,588
	資本剰余金	4,228	4,228
	利益剰余金	10,771	12,779
	自己株式	△1,000	△1,222
	その他の包括利益累計額	432	241
	少数株主持分	261	65
\rightarrow \bigcirc	純資産合計	18,280	19,679
	負債及び純資産合計	26,654	31,020

431,020※百万円未満切り捨て

(単位:百万円)





→ 1) 資産

総資産につきましては、前連結会計年度末に比べて43億65百万円増加し、310億20百万円となりました。これは、現金及び預金が14億33百万円、たな卸資産が29億23百万円増加したこと等によるものであります。

→ 2) 負債

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて29億67百万円 増加し、113億40百万円となりました。これは、支払手形及び買 掛金が2億9百万円、仕入債務等の決済資金として短期借入金が 20億円増加したこと等によるものであります。

→ 3) 純資産

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて13億98百万円増加し、196億79百万円となりました。これは、当期純利益20億8百万円の計上と繰延ヘッジ損益が2億62百万円減少したこと等によるものであります。

連結捐益計算書

~\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\		(十四, 四)
科目	前連結会計年度 (自 平成24年7月 1日) 至 平成25年6月30日)	当連結会計年度 (自 平成25年7月 1日) 至 平成26年6月30日)
売上高	36,671	46,228
売上原価	30,554	37,979
売上総利益	6,116	8,249
販売費及び一般管理費	5,491	6,022
営業利益	624	2,226
営業外収益	262	409
営業外費用	353	206
経常利益	533	2,429
特別損失	416	2
税金等調整前当期純利益	116	2,427
法人税、住民税及び事業税	131	436
法人税等調整額	295	△46
少数株主損益調整前当期純利益 (△純損失)	△310	2,037
少数株主利益	46	29
当期純利益 (△純損失)	△356	2,008
·	Ψ.	古下田土港切り 怜ァ

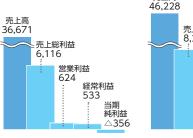
※百万円未満切り捨て

油(土 しぃこ 145+

	連結キャッシュ・フロ	(単位:百万円)	
	科目	前連結会計年度 (自 平成24年7月 1日) 室 平成25年6月30日)	当連結会計年度 (自 平成25年7月 1 日) 室 平成26年6月30日)
→4	営業活動によるキャッシュ・フロー	810	△253
→ 5	投資活動によるキャッシュ・フロー	△239	△113
→ 6	財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,132	1,763
	現金及び現金同等物に係る換算差額	236	36
	現金及び現金同等物の増減額	△325	1,433
	現金及び現金同等物の期首残高	5,119	4,794
	現金及び現金同等物の期末残高	4,794	6,228

※百万円未満切り捨て

(単位:百万円)



前連結会計年度 (自平成24年7月1日至平成25年6月30日)



(単位:百万円)

当連結会計年度 (自平成25年7月1日至平成26年6月30日)

→ 4) 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果使用した資金は2億53百万円(前連結会計年度は 8億10百万円の獲得)となりました。これは、税金等調整前当期 純利益24億27百万円の計上による資金増加と、たな卸資産の増 加29億27百万円による資金減少等によるものであります。

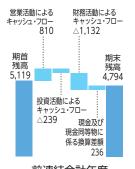
→ 5 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は1億13百万円(前連結会計年度は 2億39百万円の使用)となりました。これは、有価証券の償還に よる収入1億86百万円による資金増加と、有形及び無形固定資 産の取得による支出1億66百万円及び関係会社株式の取得によ る支出2億35百万円による資金減少等によるものであります。

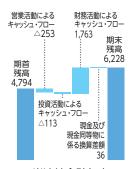
→ 6) 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果獲得した資金は17億63百万円(前連結会計年度 は11億32百万円の使用)となりました。これは、短期借入金に よる収入20億円と、自己株式の取得による支出2億22百万円等 によるものであります。

(単位:百万円)



前連結会計年度 (自平成24年7月1日至平成25年6月30日)



当連結会計年度 (自平成25年7月1日至平成26年6月30日)

TOPICS

地域貢献活動 Regional Contribution Activity

当社は石川県金沢市に本社を置いています。

社会貢献の一環として、より地域に根差した企業を目指し、地域社会との積極的な交流を通して、地域に貢献する活動を行っています。

◆海岸清掃「クリーンビーチいしかわ」

毎年、複数の企業、個人が共同で海岸清掃を行う「クリーンビーチいしかわ」に企業として今年も参加しました。 当日は天候にも恵まれ、当社以外の参加者とも協力して金沢市内の海岸を1時間に亘って清掃し、海岸に埋まっていた大きな漁網を悪戦苦闘しながら掘り出す等、ゴミ袋を持ちながら各員が沢山のゴミを拾うことで海岸の美化に努めました。







◆第63回金沢百万石まつり「百万石踊り流し」

毎年6月に開催される「百万石踊り流し」に、今年も部署の垣根を超えて集結したメンバーが"チームアイオー"として、唄にのりながら心を一つに、掛け声を合わせて踊りました。



■ 環境活動 Environmental Activity

当社は様々な地球環境の保護・保全活動に取り組んでいます。

◆新入社員美化清掃活動

毎年、新入社員教育の一環として本社社屋周辺の美化清掃活動を行っています。 今年も14名の新人達が、1時間に亘って歩道や側溝、公園のゴミ拾いなどを実施しました。





◆本社社屋、一部の照明設備に人感センサー及びLED照明を導入

本社社屋内、一部の廊下とトイレの照明設備に人感センサー及びLED照明を導入しました。

人感センサーにより、人が近づくと自動点灯し、不在時には自動消灯、 またLED照明への切替により消費電力が削減され、電気使用量の節約に つながりました。

アイ・オー・データ機器 環境情報は…

>http://www.iodata.jp/company/environment/

→または当社ホームページで **環境への取り組み**



■■■ 株主様アンケートのお願い ■■■

アンケート実施期間:平成26年9月26日 ~ 平成26年10月31日

当社では、株主の皆様のお声を今後のIR活動(企業からの投資家の皆様への情報提供活動)に役立てていくため、今年も 平成26年6月末現在の株主の皆様を対象にアンケートを実施させていただくことといたしました。 お手数ではございますが、下記のどちらかの方法にてアンケートへのご協力をお願い申し上げます。

締切日:平成26年10月31日(消印有効)

インターネット

下記URLよりアンケート専用Webサイトへアクセスしてください。

www.iodata.jp/kabunushi/

ログインID iodata39(半角)

ログイン用パスワード「株主番号」を半角で入力してください。

送

インターネットを利用されない場合は、右ページのアンケート 用紙にご記入のうえ、郵送してください。

なお、ご記入後は、お手数ですが、のりしろ箇所にのり付け後、 投函していただきますようお願いいたします。

※「株主番号」はプレゼントの発送時に必要となりますので、お忘れ なくご記入ください。

「株主番号」は、同封の「期末配当金計算書 | の左下に記載されている 8桁 の番号です。

(例) 12345678

(株主様アンケートによりお伺いした個人情報は、今後のIR活動の参考およびプレゼントの発送の目的にのみ使用し、第三者への提供は一切行いません。)



アンケート

切り取り線

		□答は、該当する□に√をつけてください。		
Q1	当社の株式を購入された理由をお聞かせください。 (複数回答可)	□将来性 □収益性 □安定性 □独自性 □知名度 □経営方針 □事業内容 □財務内容・業績 □株価 □配当利回り □証券会社の勧め □その他()		
Q 2	当社株式の保有年数はどれくらいですか?	□1年未満 □1年以上3年未満 □3年以上5年未満 □5年以上		
Q3	当社の株式について今後の保有のご予定をお聞かせ ください。	□長期保有 □買い増し予定 □売却予定 □業績と株価次第で売買 □既に売却 □不明 □その他()		
Q 4	今後の保有方針の判断材料は何ですか?(複数回答可)	□株価 □安定配当 □株主優待 □自社株買い □株式分割 □業績 □将来計画の有望性 □その他()		
Q5	(□株主通信 □ホームページでの情報提供 □株主向け情報誌 □ □個人投資家向け会社説明会 □その他()		
Q6		点 © □株主通信 □新聞・情報誌 □四季報・会社情報 □証券会社 合 □ホームページ □インターネット□その他()		
Q <i>7</i>	現在、興味のあるパソコン周辺機器・デジタル家電は何ですか?(複数回答可)	に して □メモリ □ストレージ □液晶ディスプレイ □ネットワーク関連 く □マルチメディア関連 □デジタル情報家電関連 だ □その他()		
Q8	当社に今後期待する製品は何ですか?			
Q9	その他、当社へのご意見・ご要望などご自由に ご記入ください。			
*	ご協力ありがとうございました ※本書面はアンケートにつき、住所変更等 株主名簿 管理人の行う諸手続きを依頼するものではありません。 また、ご質問を記入いただきましても、お返事はいたし	大記 で住所 欄は、本株主通信のお届け先と現住所が異なる場合にのみです。 (8桁です) で性別 男・女 1. 会社員 2. 会社役員 3. 公務員 4. 自営業 5. 主婦 6. 学生 7. 無職 で記 で住所 欄は、本株主通信のお届け先と現住所が異なる場合にのみで記入ください。		
	かねますので、何卒ご了承ください。	び この この この お 道 一		

ご住所

(切手不要)

石川県金沢市桜田町三丁目10番地株式会社アイ・オー・データ機器管理部株主様アンケート係 行

2 0 8 7 9

իվիկակիկվիայելելելելելելելելելելելելելել

郵送時にはお手数ですが、必ずのり付けをお願いいたします。

1

2

のりしる

のりしる

のりしる

のりしる

のりしる

のりしる

のりしる

のりしる

のりしる

がえられる。

がえられる。

ボストへご投函ください。

貼り付けます。

---この点線で山折りにしてください -

■ 会社の概要/株式情報〉〉〉

会社概要 (平成26年6月30日現在) ►

株式会社アイ・オー・データ機器

I-O DATA DEVICE, INC.

設 17 昭和51年1月10日 資本金 35億8.807万円 従業員数 417名 (単体) 460名 (連結)

役 員 (平成26年9月25日現在) ►

代表	₹取締征	公社長	Ē	細	野	昭	雄
専	務取	締役	Ž	池		信	夫
取	締	名	ž	濵	\blacksquare	尚	則
取	締	名	Ž	加	藤	啓	樹
◎取	締	名	Ž	新	\blacksquare	義	廣
常	勤監	查衫	ž	池	\blacksquare	雅	勝
※監	查	名	ž	水	谷		章
※監	查	名	ž	松	木	浩	_
※監	查	名	ž	横	本		篤
/333 ±1	61 To /ct /			11/10			

(注) 社外取締役には◎印を、社外監査役には※印を付しております。

当社グループ (平成26年6月30日現在) 事業所 関係会社

本 社 (金沢市) 営業所

東京オフィス 大阪営業所 札幌営業所 仙台営業所 名古屋営業所 広島営業所 福岡営業所

●子会社

國際艾歐資訊股份有限公司 ※艾歐資訊橫山(香港)有限公司 I-O DATA America, Inc. ITGマーケティング株式会社

●関連会社

I-O & YT Pte. Ltd. 株式会社デジオン

クリエイティブ・メディア株式会社

※艾歐資訊横山(香港)有限公司は平成26年7月1日付で、艾歐資訊香港有限公 司に社名変更しております。

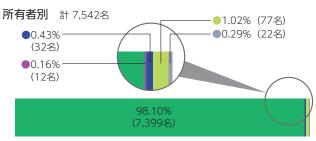
株式の状況 (平成26年6月30日現在)

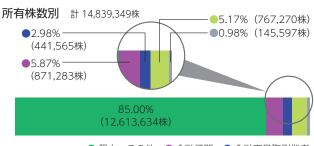
発行可能株式総数 41,000,000株 発行済株式の総数 14,839,349株 1単元の株式の数 100株 7.542名 株主数

大株主 (平成26年6月30日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
細 野 昭 雄	4,514,643	30.42
株式会社アイ・オー・データ機器	2,045,429	13.78
細 野 幸 江	763,780	5.15
株式会社北國銀行	306,662	2.07
有限会社トレント	269,675	1.82
三菱化学メディア株式会社	200,000	1.35
日本証券金融株式会社	167,100	1.13

株式分布状況 (平成26年6月30日現在)





● 個人・その他 ● 金融機関 ● 金融商品取引業者

株主メモ

事業年度毎年7月1日から翌年6月30日まで

定時株主総会 毎年9月開催

基 準 日 定時株主総会 毎年6月30日

期末配当金毎年6月30日中間配当金毎年12月31日

その他必要があるときは、あらかじめ

公告して定めた日

公 告 方 法 電子公告により当社のホームページ

に掲載します。(http://www.iodata.jp/) ただし、やむを得ない事由により電

子公告ができない場合は、日本経済

新聞に掲載します。

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

₹541-8502

大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)

特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社

同 連 絡 先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

〒168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL 0120-782-031(通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所 JASDAQ

証券コード 6916

ご注意

■住所変更、単元未満株式の買取・買増請求等の各種お手続きについて

原則、□座を開設されている□座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。

□座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできません。

■特別□座に記録された株式に関する各種お手続きについて

三井住友信託銀行が口座管理機関となっておりますので、三井住友信託銀行にお問い合わせください。株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行ではお手続きできません。

■未払い配当金について

未受領の配当金につきましては、株主名簿管理人であります三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。当社定款の定めにより、支払開始の日から満3年を経過しますとお支払いできないこととなりますので、お早めにお受け取りください。

※大阪証券取引所は、平成25年7月16日付をもって東京証券取引所と市場の統合を行なったため、当社の上場証券取引所は、東京証券取引所になっております。

類 アイ・オー・データ機器

石川県金沢市桜田町三丁目10番地 URL http://www.iodata.jp/





